

# 高等教育推進センターニューズレター

## CSHE Newsletter

発行：関西学院大学高等教育推進センター  
Center for the Study of Higher Education

2017年11月1日 (13号)

LUNAの利用実績とお知らせ	1
LUNAの活用事例紹介	2
SD講演会・FD講演会の実施報告	6
FD講演会・ワークショップ実施報告	7
授業調査実施報告・秋予告	8

### ＝第13号発行にあたって＝

今号の「LUNA活用事例集」は「授業支援ボックス」を活用した二事例の紹介です。この機能は、昨年度までの利用実験を経て、今年度から供用されているものです。紙媒体と電子媒体双方の利点を活かして、受講生との課題等のやり取りが実現できます。点数・成績管理も含めて、LUNAを媒介した授業環境が構築できます。受講生の人数にかかわらず、双方向のコミュニケーションが劇的に効率よくおこなえるようになります。記事を一読いただき、是非ご活用ください。

また、今年度から新たな方法と内容で実施されることになった「学修行動と授業に関する調査」に関連する記事が最終面に掲載されています。従来の「授業に関する調査」は、授業改善や教育環境整備などを目的としていましたが、今年度の調査から受講生の学修行動・成果に関する項目を拡充しています。調査結果の一部は、科目担当者の授業改善だけでなく、受講生本人の振り返りの資料にもなります。秋学期も同様の調査が実施されますので、皆様のご協力をお願いします。

高等教育推進センター副長（高等教育推進センターニューズレター編集長）中野 康人



### ◆ 2016年度のLUNAの利用実績は昨年度を上回りました。

2016年度の利用実績の集計を行いました（下表）。

LUNAを利用する授業科目の比率は47.6%、専任教員の利用率は76.9%、と過年度実績を上回りました。

また、学生の利用率においても93.6%と過年度実績より増加しました。

指標項目	指標の定義	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
1 LMSを利用する授業科目の比率	全開講科目数(大学・当該年度)に対する LUNA を利用する科目の比率。(LUNA を利用するとは「お知らせ・教材・掲示板など」に教材や記事が掲載されている科目とする。)	12.2%	34.6%	35.7%	38.7%	40.4%	43.8%	47.6%
2 LMSを利用する専任教員の比率	全専任教員に対する LUNA を利用する専任教員の比率。(LUNA を利用する専任教員とは「お知らせ・教材・掲示板など」を利用している科目がひとつでもあることとする。)	53.9%	59.4%	60.9%	69.8%	73.5%	76.2%	76.9%
3 LMSを利用する学生の比率	LUNA にアクセスした学部学生数 ÷ 在籍学生数(学部) (1回でも LUNA のページにアクセスしたらカウントする。)	65.8%	85.9%	89.0%	92.0%	92.5%	92.3%	93.6%

### ◆ LUNA サポートでは以下のサービスを提供しておりますので、ご利用ください。

- ◎電話・メールサポート …… 電話やメールにてお問い合わせをいただければ、サポートします。
- ◎出張サポート …… 研究室に直接訪問し、サポートします。個人、複数のいずれでも対応可能です。
- ◎来室サポート …… 高等教育推進センター事務室へ来室いただければ、その場でサポートします。
- ◎学生向け説明会 …… 先生に代わって LUNA の操作方法のオリエンテーションをおこないます。
- ◎ハンドブック …… 教員向け・学生向けを用意しています。
- ◎LUNA サポート …… LUNA 内に詳細なマニュアルを掲示しております。



### 教職教育研究センター 吉田卓司先生のご活用事例

- ・ LUNA を使っている科目  
⇒教職) 教育方法基礎論 1 (2017 春・火・4)  
⇒教職) 教育方法基礎論 2 (2017 春・火・5)
- ・ LUNA で利用している機能  
⇒授業支援ボックス、課題レポート
- ・ ご利用のきっかけ  
⇒春の案内で見っていた  
⇒他大学で OCR を使っていて、授業支援ボックスの利便性は理解していた

◆授業支援ボックスで返却された答案は、学生に比較、考察させることができ、学びが深くなる

◆授業支援ボックスをつかったアクティブラーニングは、学生、教師ともモチベーション UP!

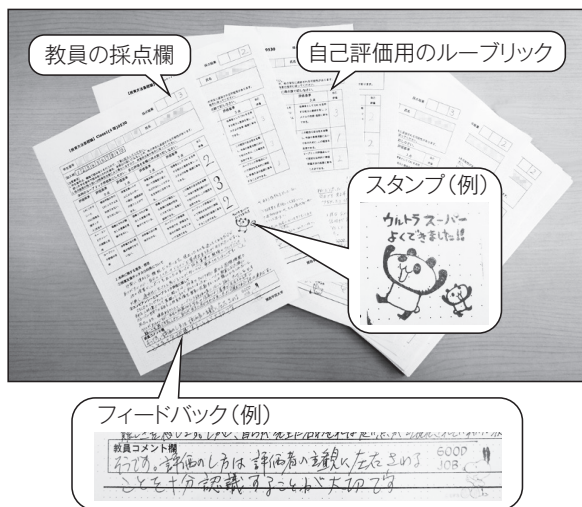
◆教職の現場では必須の ICT

LUNA のオリエンテーションの実施や LUNA を利用することにより ICT や LMS の習熟を深める

### <「授業支援ボックス」の授業での活用>

授業内容のルーブリックを印刷した専用用紙を配り、自己評価をさせ授業内に提出させている。

「授業支援ボックス」は、学生の自己評価や自分の書いたコメント、教員の評価を、WEB 上で返却でき、学生への答案返却が簡便である。また、学生も LUNA で返却内容を確認し、自己評価と教員の評価(得点・フィードバック)を比較し、その内容も保存できるので、講義後の考察の振り返りにも有効である。



また、紙に書く授業支援ボックスだからこそ、ワープロソフトとは違い自由に記述でき、手書きならではの人間性も教授者に伝わる。

フィードバックは「赤ペン」や「ハンコ」などを使い、質問や疑問点への回答をいかに端的に伝えるか工夫している。これから教職に就くであろう学生たちに教職のツールの一つとしての LMS や添削例(時には反面教師として)を示している。

LUNA に PDF として画像で答案を返却ができるので、学生から、フィードバックに対してのリアクションもあり、学生だけでなく教員も今後の指導に対するモチベーションも上がる。

これからの教育現場では必須の ICT。LUNA を使った授業を介して ICT を含めた様々なツールを「使ったことがある」から「使える」に、さらに、「自分が改善する」ところまで目標を掲げる学生に育ててほしい。

### <LUNA の使い方のオリエンテーション>

「学生向け LUNA のオリエンテーション」(20 分)を講義内で、本センターの協力を得て実施したところ、今まで何となく(よくわからないまま)使っていた学生も、LUNA の習熟度が向上し、LUNA のサービスを均等に活用できるようになったとの声があった。LUNA の利用によって、教職の現場で必要となる ICT 活用のハードルが低減されることも期待している。







### 教育学部 中尾正広先生のご活用事例

- ・ LUNA を使っている科目  
⇒算数 教育方法論 基礎演習  
【クラス規模】大教室・中教室 【授業形態】講義系  
【配布物】講義内容によって資料の有無、量が異なる
- ・ LUNA で利用している機能  
⇒授業支援ボックス、課題レポート、成績管理
- ・ LUNA で授業支援ボックスを使用するようになったきっかけは何ですか？  
⇒昨年、豊原先生の研究会に参加したことです。

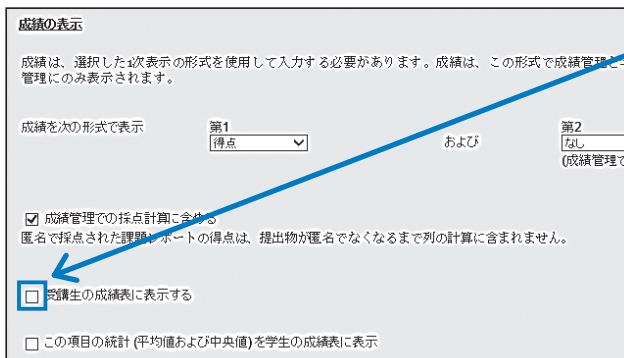
### 【授業支援ボックスをどのように活用していますか】

#### ●採点、コメントをつけた後の答案の返却

点数は別にエクセルファイルで管理しており、LUNA の成績管理上では学生には表示しない設定にしています。

#### ●本授業では、学生には LUNA の入口をあえて「教材・課題・テスト」の一つにしています。

授業での配布物、授業内容、自分の提出した課題は「教材・課題・テスト」を確認すればよいようにして、学生が操作を迷わないよう工夫し、利用しています。

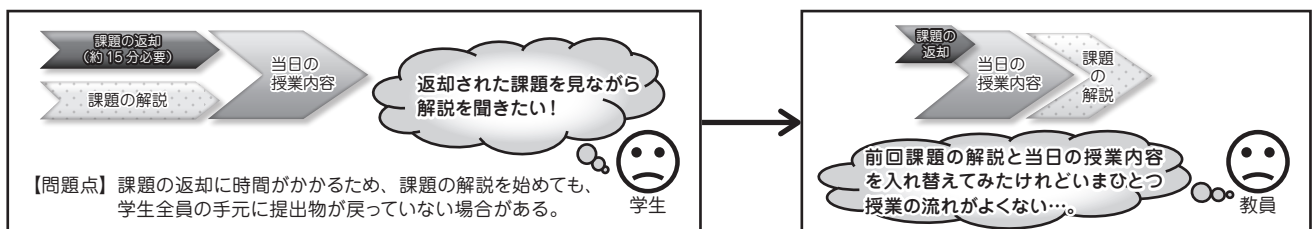


成績管理上で学生に点数を表示しない設定にするには次の2つの方法があります。

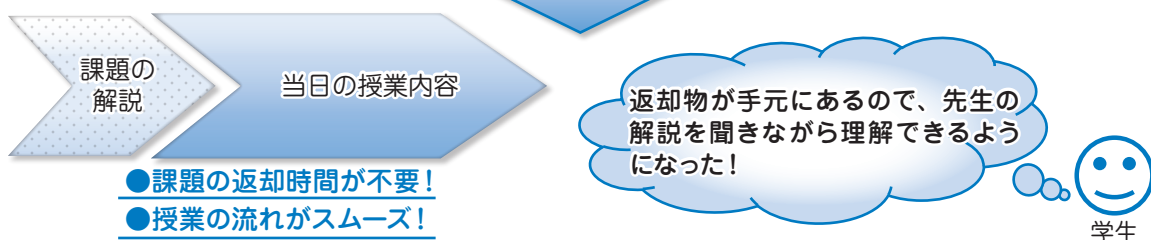
1. 課題設定時、「成績の表示」画面で「受講生の成績表に表示する」のチェックを外します。
2. ①成績管理画面で、表示したくない列の右横のアクションリンクボタンをクリックします。  
②学生の成績表に表示する（オン / オフ）を選択します。  
成績管理表には、オフ時は / が表示されます。  
表示例：■

### 【授業支援ボックスを使用して良かった点】

#### 授業支援ボックス使用前

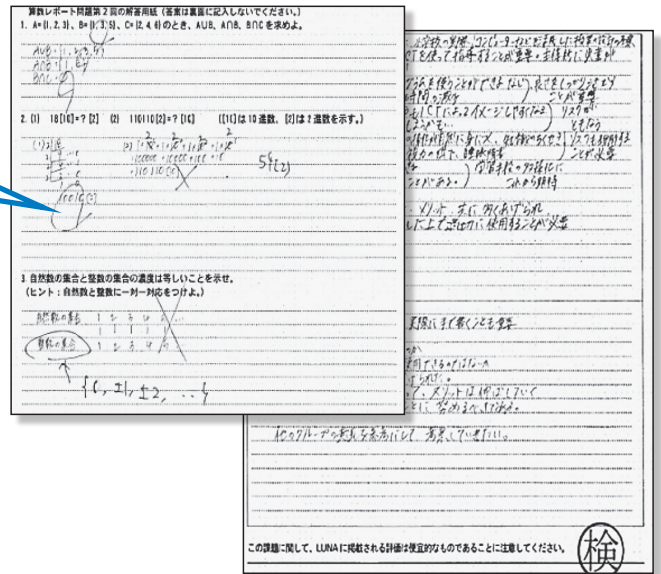
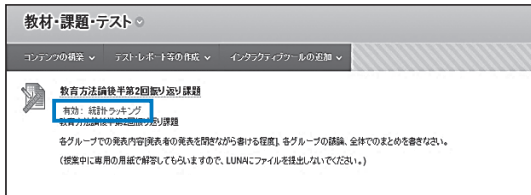


#### 授業支援ボックス使用后



毎回の返却課題が LUNA 上に残っているため、その課題を最終レポートに活かすことが可能です。

実際に統計トラッキングで確認したところ、たくさんの学生が課題を振り返り、利用していたことが確認できました。



<LUNA に返却された課題>

### 【学生にも好評】

下記の理由から、授業支援ボックスは学生にも好評です。



これまで提出した課題を LUNA 上で簡単に参照できるため、紛失の心配もなく、それらの課題を最終レポートに活かすことができた!

…事務室で受け付けるレポート等は、印刷しホッチキス止めをして提出しますが、LUNA で提出する場合は、印刷もホッチキスも必要ありません。

### ご要望・他に利用してみたい機能は？

- 授業支援ボックスで、全員分の学籍番号と名前などの個人情報を隠した状態の提出物の PDF が生成されるようにしてほしいです。加工せずすぐに授業で使用できるので、実現すれば授業に活用したいです。
- 週2回同じ内容で複数クラスの授業を担当しています。授業支援ボックスの利用にあたり、授業前日までに課題を採点し、スキャンを完了していなければ、授業時に課題を返却できません。高等教育推進センターに聖和キャンパスからメール便で課題を送付し、読み取り依頼をしていますが、時間的余裕がないため、授業支援ボックスの読み取り機を各キャンパスに設置していただけると嬉しいです。
- 機会があれば Web レスポンスを授業で使用してみたいと思っています。
- 各キャンパスに LUNA サポートのカウンターを作ってほしいです。電話でもよいのですが、直接説明を受ける方がわかりやすいので、LUNA サポートのカウンターがあれば助かります。

ここでご紹介させて頂いた機能は LUNA サポートにマニュアルがございますので、ぜひご利用ください

LUNA サポート→LUNA の使い方 (左側のメニュー)

- ☆ 授業支援ボックス ▶ 初回ご利用時は高等教育推進センターにご連絡ください。
- ☆ Web レスポンス ▶ Web レスポンス操作マニュアル

## 第7回 SD 講演会

## 「給付型奨学金の意義と目的」

開催日時：2017年6月23日（金）17：20～18：50

開催会場：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館 翼の間

講師：川村 匡氏（文部科学省高等教育局学生・留学生課 課長補佐）

開会挨拶：平林 孝裕氏（関西学院大学高等教育推進センター長）

司会：永井 良二氏（関西学院大学高等教育推進センター事務長）



文部科学省から川村氏をお招きし、給付型奨学金の意義と目的、またその制度成立までの道のりについて、国の行政機関による調査結果や各種統計、新聞記事等を用いてご講演いただきました。途中には参加者同士で大学無償化について討論・発表を行う時間もあり、最後は再び川村氏より今後の課題と展望についてお話いただきました。

本講演会は文学部事務室職場内研修会との合同で開催し、当日は学内多数の部署から参加がありました。会場は満席となり、関心の高さがうかがえました。参加者からのアンケートでは、「現在、奨学金に関して議論されている点を共有でき、意識を高めることができた。」「今までの経緯を踏まえて過去や世界と比べたデータを用いてお話いただき、理解しやすかった。」「大学無償化の話題にも触れていただき、様々な視点から、「学費」について考えるきっかけを得られた。」等の感想が寄せられました。

なお、講演会の詳細につきましては、2018年3月発行の「関西学院大学 高等教育研究第8号」をご覧ください。

## 第8回 FD 講演会

## 「LMS における著作権の考え方」

開催日時：2017年6月30日（金）17：10～18：40

開催会場：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館 翼の間

講師：隅谷 孝洋氏（広島大学情報メディア教育研究センター准教授）

開会挨拶：平林 孝裕氏（関西学院大学高等教育推進センター長）

司会：中野 康人氏（関西学院大学高等教育推進センター副長）



当センターではLMS (LUNA) の運用をしており、授業科目での利用率は2016年度で47.6%（本ニュースレター1ページ参照）と非常に多くの学生、教職員に活用されています。今後も多くの方に利用をしていただくため、利用方法について今一度確認をするべく、広島大学より隅谷先生をお招きして「LMSにおける著作権の考え方」をテーマに講演会を開催しました。

はじめに、著作権の基本的な概念や考え方に関する説明がなされ、その後LMSにおいて問題とされる「公衆送信」についてお話がありました。また、広島大学で現在行われている「著作権処理」の実情をご紹介いただきました。講演後、参加者からは「著作物利用のためのテクニカルな問題もさることながら、著作権保護の意識の向上も必要だと感じた」といった声も寄せられました。

なお、講演会の詳細につきましては、2018年3月発行の「関西学院大学 高等教育研究第8号」をご覧ください。



## FDに関する講演会 — 2017年度新任教員研修 —

開催日時：2017年4月8日(土)9:00～15:20

講師：平林 孝裕氏(高等教育推進センター長)

本学に新たに着任した教員を対象とした、新任教員研修が4月8日に開催されました。村田治学長より、「関西学院大学の教育目標」についての講演をはじめ、教務機構、研究推進社会連携機構、大学図書館より各制度・業務についての説明があり、午後からは高等教育推進センター主催のLMS(LUNA)講習会とFDに関する講演会「授業評価結果からみる本学の教育状況について」が開催されました。

FDに関する講演会では、平林高等教育推進センター長より、アクティブラーニングのための教育支援ツールの紹介や、前年度に実施された授業調査の結果報告書をもとに、本学学生の学修時間や授業の満足度についての分析結果の説明がされました。

さらに本学では、教員個人のFD活動を推進するだけでなく、提供部署単位でのFD活動や全学的なFD活動を推進していることを紹介し、参加者に積極的な協力が依頼されました。

講演終了後に実施したアンケートからは、「授業改善のきっかけとなるアイデアをたくさん頂けた」、「高等教育の現状を知ることができた」等の感想があり、新任教員の今後のFD活動へとつながる有益な講演会となりました。



## FDワークショップ 大学教員のための『講義方法のブラッシュアップ』A

開催日時：2017年9月6日(水)～7日(木)

講師：倉茂 好匡氏&lt;滋賀県立大学理事兼副学長(教育・学生支援担当)&gt;

このワークショップは、「関西地区 FD 連絡協議会初任教員向けプログラム」との共催事業として、2011年より「講義方法の基礎 B」と隔年で実施されており、専任教員、非常勤講師及び大学で講義担当を目指す後期課程の大学院生等を対象に、1日目のみ、2日間連続参加の選択が可能となっています。

今回は初級編ということで、授業での発声方法や板書の使用法をはじめ、事前アンケートで多くの方から要望のあったアクティブラーニング法についても講義をいただきました。また、ワークショップの最後にはグループで一つの授業を完成させ、発表が行われました。参加者数は初日が27名(関西学院大学から10名、関西地区FD連絡協議会加盟校等から17名)、2日目が17名(関西学院大学から8名、関西地区FD連絡協議会加盟校等から9名)でした。

なお、当日のプログラムと感想は以下の通りです。

- ◆9月6日(水) 講義「基本の基本」  
講義「授業展開で陥りやすい罠」  
ワークショップ「教材研究」
- ◆9月7日(木) 講義「発問法、アクティブラーニング法」  
グループワーク「授業の完成と発表会」

- ◎様々なバックグラウンドを持つ先生達とのグループワークを通して、様々な考え方や、授業の仕方を体験できた
- ◎大変意義があり、明日からの授業に活かしたい
- ◎講義における授業づくりだけでなく、このワークショップの倉茂先生の「クラスづくり」からも多くを学べた



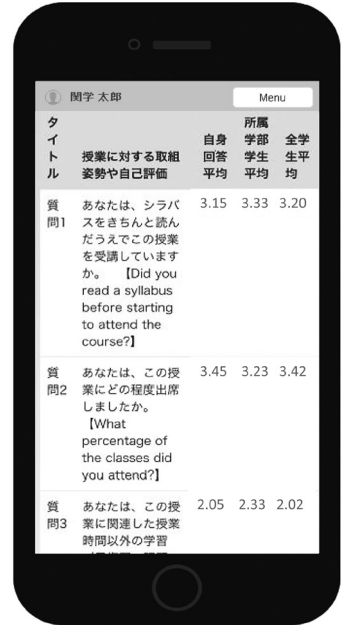
## &lt;新機能&gt;学修行動記録の返却、はじめました（ポートフォリオ・LUNA 利用 / 学生向け機能）

2017年度より「授業に関する調査」は、従来の授業改善、環境整備のための質問項目に加えて、受講生の学修行動・成果に関する設問を加えた調査へと生まれ変わり、学生番号記名式の調査となりました。調査に回答した学生については、自身の学修行動に関する記録（問1～8）がLUNAとポートフォリオ上に反映されています。

これまでは、授業担当者にのみ結果を返却していましたが、学生にも自己の記録や科目区分ごとの全学平均を公表することで、学修行動・成果の振り返りが可能となりました。



質問	自身回答
あなたは、シラバスをきちんと読んでこの授業を受講していますか。【Did you read a syllabus before starting to attend the course?】	そう思う(5点) 【Strong (5 points)】
あなたは、この授業にどの程度出席しましたか。【What percentage of the classes did you attend?】	99%～80%(4点)【4 points】
あなたは、この授業に関連した授業時間以外の学習(予復習・課題等)に対して、平均して1週間どれくらい費やしましたか。【How many hours on average per week did you spend studying for this course (preparation, reviewing, doing assignments, etc.) outside class hours?】	2時間以上～38時間未満【Between 2 and 38 hours】
あなたは、この授業に積極的に取り組んだと思いますか。【Did you actively and positively apply yourself to this course?】	どちらかというそうは思わない(2点)【Partially Disagree (2 points)】
あなたはこの授業を通して、卒業までに求められる資質・能力を向上できたと思いますか。【Did you develop in terms of the qualities and abilities required for university graduation?】	そう思う(5点) 【Strong (5 points)】



質問	自身回答	所属学部	全学平均
あなたは、シラバスをきちんと読んでこの授業を受講していますか。【Did you read a syllabus before starting to attend the course?】	3.15	3.33	3.20
あなたは、この授業にどの程度出席しましたか。【What percentage of the classes did you attend?】	3.45	3.23	3.42
あなたは、この授業に関連した授業時間以外の学習	2.05	2.33	2.02

↑ポートフォリオでの表示

←LUNAでの表示

(いずれも画面はイメージです)

## 春学期の回収状況と秋学期の調査期間のお知らせ

2017年度春学期のマークシート方式による実施率は99.3%（2016年度春学期98.8%）と、多くの先生方のご協力によりほぼすべての授業で実施されました。

また、LUNAを利用したWebによる調査方式では、Webの対象科目のうち学生からの回答があった科目は全体の83.4%（2016年度春学期43.2%）でした。2017年にLUNAの改修を行い、未回答者に督促機能を設けたことで大幅に回答率が向上しました。

本調査の目的は①学生の学修行動・成果の振り返り、②授業担当者が次年度以降の授業内容や授業方法の改善への取り組み、③授業環境について組織的な改善に結びつけること、の3点です。なお、各学部・センターのFD活動の一例は高等教育推進センターホームページの「各学部のFD活動」をご覧ください。

秋学期も引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。

◇秋学期の実施スケジュール

<マークシート方式>

2017年12月6日（水）～12月19日（火）[予備期間：12月20日（水）～2018年1月13日（土）]

<Web方式>

2017年12月6日（水）～2018年1月13日（土）

※実施要領・調査対象科目等の詳細につきましては、11月中旬に各授業担当者にご連絡致します。

## 高等教育推進センターニュースレター

2017年11月1日

発行：関西学院大学高等教育推進センター TEL：0798-54-7420 FAX：0798-54-7421

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155 <https://www.kwansei.ac.jp/highedu>

ご意見、ご感想、情報等をお寄せ下さい。寄稿も歓迎致します。✉ [HighEdu@kwansei.ac.jp](mailto:HighEdu@kwansei.ac.jp)